証券コード 6405

SUZUMO REPORT

第 61 期 中間報告書

2020年4月1日～2020年9月30日

Index

トップメッセージ ……P.01
特集：今後の見通し ….P.03
TOPICS ……P.05
財務ハイライト ……P.07

トップメッセージ

新生SUZUMO元年 上半期を振り返って

代表取締役社長
鈴木 美奈子

コロナ禍がもたらした ライフスタイルの変革

新型コロナウイルス感染症が世界的な規模で人々のライフスタイルや経済活動に多大な影響を及ぼしております。当社の事業領域である「食」の世界にも、大きな変化が起きました。上半期の決算では国内・海外市場ともに新型コロナウイルス感染症による経済活動の停滞を受け、連結売上高は前年同期比で減少となりました。国内では、外食を中心に新規出店計画の遅れや設備投資計画の見直しの影響がありました。しかし、最終消費者や事業者の「衛生」に対する意識の高まりにより、アルコール消毒剤等の衛生資材関連の販売が拡大され、国内売上高は同5.2%減と微減にとどまりました。

一方、海外においては、ロックダウン、外出規制、渡航制限の実施で、物流網の停滞や日本食を扱う外食や小売業の設備投資意欲減退の影響がありました。特にアジア地域の販売が落ち込み、海外売上高は同16.6%減と前年を大きく下回りました。

「衛生」に対する意識の高まりが 新たなニーズを生み出す

コロナ禍によってもたらされた価値観の変化は、最終消費者や事業者の「衛生」に対する意識の高まり、が大きなポイントだと思っています。「Withコロナ時代の新しい生活様式」は新たなニーズを生み出す、と考えています。

当社は、7月に新製品のご飯盛付けロボット「Fuwarica」を発表いたしました。カラーリングを含め、デザインや操作性を刷新し、最終消費者によるセルフでの使用を意識した仕様となっています。今後は、ホテルのビュッフェ、レストラン、社員食堂等への販売を積極的に進め、ファミレスのドリンクバーのように、ご飯もセルフで盛り付ける「ライスバー」が当たり前のスタイルを定着させていきたいと考えています。

「食」を提供するサービスの変化を ビジネス拡大につなげる

回転寿司やレストラン等の外食産業ではテイクアウトやデリバリーサービスの発展が著しく、当社の製品に新たなニーズが生まれてきています。このようなテイクアウトに対応した製品の開発も進めており、お客様のニーズにしっかりと応え、事業拡大につなげていきたいと思っています。

特集：下半期の見通しと今後の展望

新しい需要を取り込んで下半期の業績は底堅い見通し

依然として新型コロナウイルス感染症の拡大懸念は継続しており、当社を取り巻く事業環境も引き続き不透明感があります。しかし、衛生意識の高まり、テイクアウトやデリバリー等、外食産業の構造変化にともなうセルフ化、省人化が加速していくと考えており、新しい需要を取り込むことで下半期は底堅く推移できるのではないかと見ております。今年度は、連結売上高が前期比3.7%減の86億円、営業利益が前期比43.8%減の4億3,000万円、当期純利益が前期比9.8%減の2億9,000万円という数値を計画しております。

コロナ禍をプラスに捉え成長機会を確実に活かしていく

昨年11月に中期経営計画「Growth2025」を発表し、連結売上高150億円、営業利益22億5000万円、営業利益率15%、ROE10%、という目標数値を掲げました。現段階でこの目標を変更するということは考えておりません。当社のビジョンにある『食の「おいしい」や「温かい」を世界の人々へ』を追求しながら、必ずこの目標を達成していきたいと思っています。

今年度は5ヵ年の中期経営計画における初年度の年です。コロナ禍もマイナスとしてではなくプラスとしていく考えを持っています。もともと中期経営計画を策定する際に、私たちを取り巻く環境が大きく変化していく、ということを前提として考えていました。もちろん新型コロナウイルス感染症の拡大は想定しておりませんでしたが、今後、世の中の価値観やライフスタイルは大きく変化していくと考えておりました。結果的には新型コロナウイルス感染症の拡大がもたらした世の中の価値観やライフスタイルの変化は想定内の出来事であったと思っています。

業務提携や M&A など事業成長への投資を積極的に拡大

昨今、「食」の領域では「Food Tech（フードテック）」という新たな産業領域が生まれてきています。食の産業にも、デジタル技術、ロボティクス、バイオサイエンス等が融合して、世界的な食の変革が起きています。例えば外食ではデリバリーサービスの拡大に伴い、デリバリーやテイクアウト専門の、客席を持たないゴーストキッチンが徐々に広がってきています。外食店舗では、無人化に近い店舗づくりも進んでおります。

私どもは、外食に直接関わっているわけではありませんが、環境の変化を先取りした事業を前向きに検討しております。しかしながらこうした新規事業は当社単独で打ち上げるのは難しく、業種の壁を超えたさまざまな企業との連携が前進の鍵となります。「Growth2025」を達成するためにも、事業成長に資する提携やM&Aは積極的に活用してまいります。

ライス盛付け機

Fuwarica

GST-MRA　GST-FBC　GST-HMA　GST-FBB　GST-FBB-TA おむすびオプション

製品紹介

ボタンを押すだけで
温かくておいしいご飯を
ふんわり定量に、すばやく盛りつけ

衛生的、自動で素早く盛り付け、分量を選べる楽しさ、といった特徴をもつライス盛付け機を新ブランド「Fuwarica」としてシリーズ化。コロナ禍の飲食業態の課題解決もサポートできる製品として今後の需要拡大を見込んでいる。

ブランド WEB サイト

動画やビジュアルでわかりやすく

どのようなシーンに適しているか、Fuwaricaを利用した飲食シチュエーションの課題解決のヒントなども掲載したFuwarica製品を紹介するサイトが公開中。**https://www.fuwarica.info/**

Fuwarica 導入事例

～からくさホテル様（グランデ新大阪タワー）～

ビュッフェ再開の鍵に

コロナ禍で中止されていたビュッフェの再開にともない、ライス盛付け機「Fuwarica」を導入。ボタンひとつで定量のご飯を瞬時によそうことができ、炊飯ジャーのような蓋の開閉がなく、不特定多数が使い回すしゃもじも不要。空気を含んだようにふっくらおいしい盛り付け技術も採用の決め手になった。総支配人の岩本氏によると「パーツの取り外しが簡単で、洗浄もしやすい。操作もシンプルで、初めて使うお客様にも好評。何より衛生面の安心感が大きな魅力で、目に見える形の衛生管理でお客様に『安心・安全』を伝えられることは施設への信頼につながっていく」と、導入メリットを感じていただいている。

掲載協力:からくさホテル様、月刊ホテル旅館（柴田書店）

新製品 GST-MRA を発表

生産本部　技術部　部長　**山田 二郎**

「ご飯がふんわり盛れて汁が浸透しやすい」と、全国の牛丼チェーン店はじめ外食店で高い評価をいただいているライス盛付け機を、ホテルのバイキング、レストランなどで一般のお客様にセルフで使ってもらう、というコンセプトで商品化。これまで蓄積したノウハウや設計技術を詰め込みました。衛生面への配慮はもちろんのこと、残量検知や誤差のない計量、おいしさを保つ密封性、連続使用時のスピード化など、こだわり抜いた機能を搭載しています。

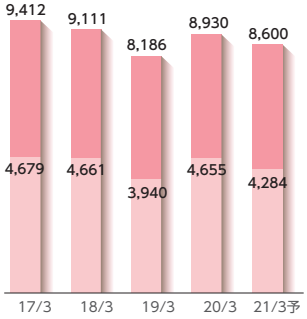
営業本部　第一営業部　営業4課　課長　**弓納持 豊**

ホテルや企業などへの営業展開で、マシンの外観の悪さを指摘されたのが開発のきっかけです。厨房内で使う業務用感を払拭し、一般消費者向けにモデルチェンジ。スタイリッシュなコンパクトボディで、カフェ風店舗やIT企業の社員食堂など、お洒落な空間にマッチすることを意識しました。コンビニのコーヒーサーバーをイメージしたデザインで、どなたでも使いやすく、今後「Fuwarica」がスタンダードになるよう広めていきたいと考えています。

期末
中間

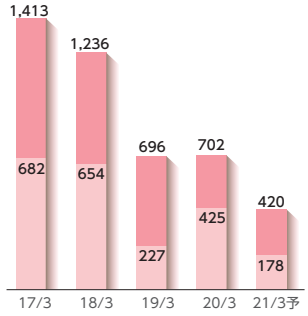
売上高（単位：百万円）

4,284 百万円
前期比 8.0%減



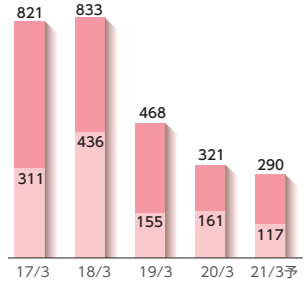
経常利益（単位：百万円）

178 百万円
前期比 58.0%減



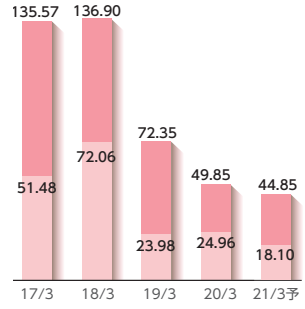
親会社株主に帰属する当期純利益（単位：百万円）

117 百万円
前期比 27.6%減



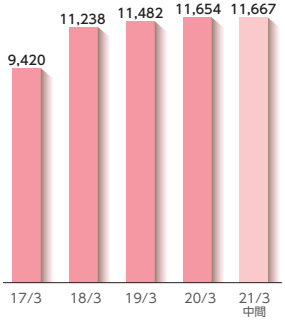
一株あたりの当期純利益（単位：円）

18.10 円



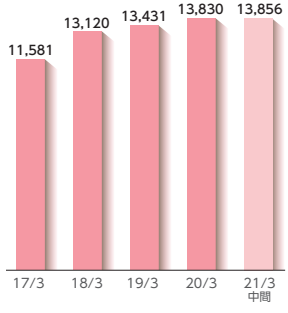
純資産（単位：百万円）

11,667 百万円

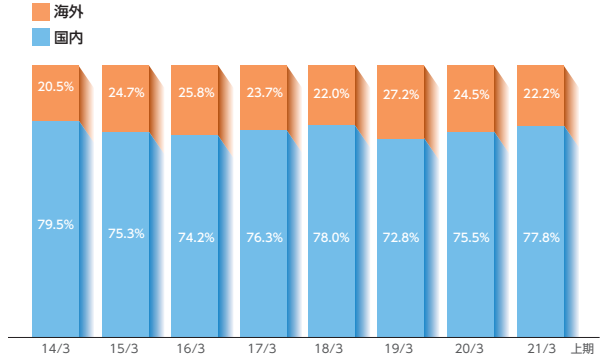


総資産（単位：百万円）

13,856 百万円



国内外の売上比率



連結財務諸表（要約）

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結貸借対表

（単位：百万円）

科目	前期 2020.3.31現在	当期第二四半期 2020.9.30現在
資産の部		
流動資産	9,753	9,607
現金及び預金	6,603	6,356
受取手形及び売掛金	1,256	1,347
たな卸資産	1,808	1,795
その他	84	107
固定資産	4,076	4,248
資産合計	13,830	13,856
負債の部		
流動負債	1,110	1,093
固定負債	1,064	1,095
負債合計	2,175	2,189
純資産の部		
株主資本	11,722	11,710
その他の包括利益累計額	△80	△55
純資産合計	11,654	11,667
負債純資産合計	13,830	13,856

連結損益計算書

（単位：百万円）

科目	前期第二四半期 2019.4.1～2019.9.30	当期第二四半期 2020.4.1～2020.9.30
売上高	4,655	4,284
営業利益	424	180
経常利益	425	178
親会社株主に帰属する四半期純利益	161	117

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科目	前期第二四半期 2019.4.1～2019.9.30	当期第二四半期 2020.4.1～2020.9.30
営業活動によるキャッシュ･フロー	466	226
投資活動によるキャッシュ･フロー	41	△ 323
財務活動によるキャッシュ･フロー	△ 141	△140
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 8	△8
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	357	△246
現金及び現金同等物の期首残高	6,503	6,603
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,936	6,356

会社概要 （2020年9月30日現在）

商号	鈴茂器工株式会社 （英文名：Suzumo Machinery Co., Ltd.）
設立	1961年1月13日
本社	東京都練馬区豊玉北2-23-2（〒176-0012） TEL.03-3993-1371(代)
資本金	11億54,418千円
事業内容	寿司ロボット、盛付けロボット等の米飯加工機械の製造・販売など
従業員数	393名（2020年9月末現在）
URL	https://www.suzumo.co.jp/

取締役および監査役 （2020年9月30日現在）

地位	氏名	担当および重要な兼職の状況
代表取締役社長	鈴木 美奈子	
専務取締役	谷口 徹	
取締役	中村 健司	営業本部長
取締役	金井 俊男	生産本部長兼東京工場長
取締役	村瀬 康宏	海外事業本部長
社外取締役	髙橋 正己	株式会社ロイヤルメディカルクラブ代表取締役社長／株式会社エコス取締役
社外取締役	髙橋 昭夫	バイオマス・フューエル株式会社社外取締役／株式会社 MTG　社外取締役
社外取締役	橋本 泰	京都きもの友禅株式会社　社外取締役／合同会社ブリッジパートナーズ　代表社員
常勤監査役	瀬川 和彦	
社外監査役	宇佐 公興	
社外監査役	村井 淳也	村井法律会計事務所　弁護士

株式の状況

（2020年9月30日現在）

発行可能株式総数 …… **16,000,000株**
発行済株式総数 …… **6,480,000株**
株主数 …… **2,417名**
1単元の株式数 …… **100株**
大株主

株主名	持株数	持株比率
鈴木　節子	1,300,240	20.11%
GULF　JAPAN　1	816,000	12.62%
鈴木　美奈子	813,000	12.58%
鈴木　映子	813,000	12.58%
NORTHERN TRUST CO.（AVFC）RE HCR00	423,600	6.55%
鈴茂器工取引先持株会	307,440	4.76%
立花証券株式会社	161,500	2.50%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	145,800	2.26%
BNYM RE BNYMLB RE GPP CLIENT MONEY AND ASSETS AC	98,500	1.52%
株式会社日本カストディ銀行	93,300	1.44%

（注 1）持株比率は小数点以下第 3 位を四捨五入しております。
（注 2）持株比率は、自己株式（15,018 株）を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	4 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで
基準日	3 月 31 日
定時株主総会	毎年 6 月
株主名簿管理人特別口座　口座管理機関	三菱 UFJ 信託銀行株式会社
同連絡先	三菱 UFJ 信託銀行株式会社　証券代行部 東京都府中市日鋼町 1-1 TEL　0120-232-711 郵送先　〒137-8081 新東京郵便局私書箱第 29 号 三菱 UFJ 信託銀行株式会社　証券代行部
上場市場	東京証券取引所（ジャスダック市場）
公告方法	電子公告（https://www.suzumo.co.jp/ir/） （ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。）

●お知らせ
各種お手続きに関するご注意
(1)株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。(2)配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは「配当金振込指定書」を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなっております。振込指定のお手続きにつきましては、詳しくは各口座管理機関にお問合せください。(3)特別口座に記録された株式に関する各種お手続きつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。(4)未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

WE LOVE RICE SUZUMO　鈴茂器工株式会社
東京都練馬区豊玉北2-23-2（〒176-0012）　TEL：03-3993-1371(代)
URL：https://www.suzumo.co.jp/